

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: R3年1月29日

事業所名: 芦屋市立すくすく学級

サービス種類: 児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	室内は十分な広さがあり、外は自然が身近に感じられる施設である。	十分な広さがあるとの全員の評価である。	現状維持。
	2 職員の適切な配置	人員基準に満たしている。	適切という意見が大多数であるが、先生のスキルの高さで今の人数でも満足しているがもう少し多い方がよいという意見もあり。	人員基準に満たしているため現状維持。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・個々に応じた支援をしている。 ・二階建ての構造になっているため、緊急時の伝達が不十分なことがある。	各々のマークで全てが分かりやすくなっている。散歩時も写真付きで説明が張ってある為、分かりやすい。	現状では、大きな声を出す、その場に行って知らせるが主たる手段で不安がある。非常時の伝達方法、例えば2階にも県警ホットラインを設置、1階と2階と連絡を取り合う手段としてインターホンなどの設置も考えていきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	登級時、降級時のアルコール消毒を徹底している。毎日、使用した玩具などを全て消毒している。	消毒、掃除の徹底できており清潔で安心・安全に過ごせている。	登級前、降級後の消毒、個別訓練時の換気消毒を継続していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	気付いたことはすぐに報告し、改善するようにしている。		今まで通り計画を周知し、実行後は必ず振り返りを行い、次につなげるように続けていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	年度末にはアンケートを行い、保護者の声を聞き改善点を話し合い実施している。		保護者アンケートの継続。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	関係機関からの研修案内に応じて参加している。		自己研鑽のため、研修には積極的に参加して行きたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	支援計画の会議を行い、職員間で意見を出し合いながら計画を作成している。	支援計画の内容がどの先生にも伝わっており、連携がなされていると感じる。	今まで通り、支援計画会議を行い、いろいろな視点で意見を出し合う場にしていきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	自由遊びの時間と集団で遊ぶ設定保育の時間帯をプログラムしている。個別での訓練も実施している。		子どもに応じた玩具、活動内容をさらに工夫していきたい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもに合わせた目標に応じて支援を明確に記載している。		今まで通り、子どもの姿と親の願いを受け止めた目標設定を行い、親にもわかりやすい支援内容を記載する。
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個々の目標を確認し合いながら支援している。	その時々課題に対して手厚い支援がなされている。	個別支援計画にのっとり、支援を継続していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	週替わりのリーダーになっているが、保育がつながるような案を作っている。保育の工夫もしている。		チーム全体で、細切れ保育にならない事、内容に偏りが無い立案の継続。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休みの前に保護者への声掛け、長期休暇中には個々に電話をし子ども保護者の状況を把握している。		今まで通り、適時声掛けをしていく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節や行事に応じた歌や遊びを取り入れている。	・少数だがどちらともいえないという意見も聞かれた。 ・毎日違う内容で楽しい。	・今年度は、コロナ禍のため行事が全く実施できず、安全を考慮した保育が中心だったため、中には固定化した保育の印象を持たれた保護者がおられたのかもしれない。 ・子どもたちに合ったプログラムを工夫していきながら、繰り返し積み重ねる保育が意味があることを保護者に周知したい。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日のリーダーが中心となり、子ども達が登級する前に打合せを細かくしている。		今まで通り細やかに打合せを行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	必ず振り返りを行い、次の遊びにつながるようになっている。	できる限り、その日のうちに振り返りを行い反省点を改善していく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個人の様子、その日の保育内容を毎日記録している。	日々の個人記録、クラス別記録、その他必要に応じて児童表の記録を継続していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	子どもの成長を振り返り、立てた目標を振り返ることもある。	今まで通り、進級時・中間評価・最終評価で聞き取りや説明を行い、子どもの姿に合わせ目標設定の見直しも行う。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	所長が毎月、療育支援相談に出席している。	保育に支障がない限り出席していきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	卒級後の引き継ぎを丁寧に行い、関係機関との連携を密に取っている。	今まで通り、保健センターとの連携、進級前・後の丁寧な引き継ぎを行っていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・導尿を必要とする子どもがいる。 医師や保護者の情報提供を受けて支援に当たっている。	医師の意見書を参考にしたり、必要に応じて指示を仰ぐように継続する。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・進路先には引き継ぎ書を作成している。 ・去年度の反省から、移行支援の実施内容の説明を行い、保護者に安心してもらうようにした。 進路先から子どもたちの様子を見にきてもらっている。 ・卒級後には進路先に出向き子どもたちの様子を見に行っている。	進級前には、進級先からすすく学級に子どもの様子を参観してもらい、引き継ぎ書で様子を伝える。また進級後に、進級先に出向き情報交換を行うなど継続したい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ禍のため、今年度は見合わせた。		情勢が安定したら専門機関の研修などの参加回数を増やしたい。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ禍のため、交流を予定していたが実施できず。	コロナ禍の為、今年は交流はなかった。	情勢が安定したら、毎年行っている保育所交流を再開していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民の出入りはしていない。		個人情報等に配慮して地域住民との交流はしていない。
保護者への説明責任	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書などを渡し、説明し、保護者のサインをもらっている。	入級前、後共に丁寧な説明があった。	引き続き丁寧な説明を行うようにする。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別に時間を取り、説明。子どもへの支援の仕方を共通理解し、発達を促すようにしている。保護者から同意のサインをもらっている。	個別面談で分かりやすい説明がある。	子どもの成長を促す支援の方法など個別対応で説明を継続していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	親子通園施設なので、日々子どもとの接し方や困りごとの対処方法など学んでもらっている。また発達相談員による親教室・個別懇談、精神科医との個別懇談、小児科医との身体の相談の機会がある。	・どちらとも言えない等意見も少数あった。 ・家での対応の仕方等についてのアドバイスもしてもらっている。	現状維持。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	課題や支援方法などを適宜行っている。	・全員「はい」の回答であった。 ・一人の先生に伝えると、すぐに他の先生にも共有してもらっている。配慮が行き届いている。	子どもそれぞれの課題や支援について、保護者、スタッフで共通理解がしていけるように現状維持に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・個別の時間を設け対応している。 ・ケースによっては、窓口を一本化した対応をとっている。	・面談も多くその都度助言をもらっている。 ・療育手帳、その他の制度・支援について説明してほしい。	今まで通り個別に懇談するなど対応したい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士が話す機会が持てるように分離保育を行っている。	・保護者同士の交流する機会を定期的につけてほしい。 ・親教室で毎週話し合いができ不安軽減につながっている。	現状維持。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者からの要望があったときはその場で対応しているため苦情はない。	至れり尽くせりの快適な環境で苦情を持つこともなく他でもきいたことがない。	迅速に誤解が生じないような対応を継続していく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	情報は正しく伝えるようにし、前向きにとらえられるような伝え方をしている。	何かにおいても常に配慮されていると思う。	障害を正しく理解して、適切な助言、意思疎通ができるように努める。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月おたよりを発行し、保護者が予定を周知できるようにしている。	・月末にはお便りを配布され分かりやすい。大多数の方には満足と解答。 ・一週間の予定が掲示のみなので文書でほしい。	前月20日に来月の予定を知らせていくこと、今まで通り週案は掲示していくが、色分けをして分かりやすくする工夫をしていきたい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報に関しては、鍵の掛かるロッカーに保管している。 ・名簿を持ち出す必要のある時は、ウエストポーチに入れ身に着けている。	自分以外の情報は分からないので、徹底されていると思う。	厳重に対応していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの見直し等も随時行い、保護者にも訓練時には毎回説明を実施している。	毎回丁寧な説明の場を設けてもらっている。	繰り返し説明を継続していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・色々な場面を想定し年に5回実施している。 ・訓練の前には必ず保護者とシュミレーションを行い、その日の目標を明確に伝えるようにしている。	きちんとした避難訓練や不審者対応の訓練も徹底している。	新しい想定での訓練も実施していきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・家庭児童相談員、保健師と連携している。 ・研修にも積極的に参加している。		今まで通り、他機関との連携を大事にしていきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・自傷行為や危険行為に対しては動きを止めることはある。 ・保護者とは共有している。		記録に残すことを実施していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・今年度はコロナ禍の為、弁当日の実施がなかったため食物アレルギー等は必要がなかった。 ・例年、医師の指示書に基づいて対応している。		医師の指示書に基づき、例年実施しているようにアレルギー児には、個別の布巾を用意したり、座席の配慮をしていく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	昨年度はヒヤリハット報告書を作成していなかった為、すぐに作成したが上手く活用できていない。		ヒヤリハットを定期的に毎月の会議の項目に加え、見直すなど意識を高めていきたい。